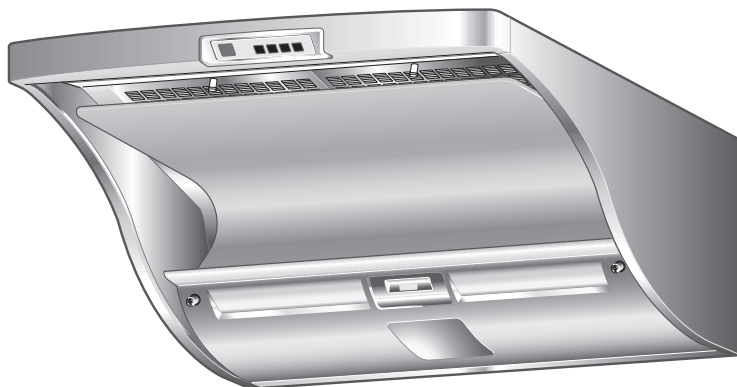


レンジフード

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	2～3
使用上のお願い	4
使いかた	5～7
各部のなまえ	5
使用前の準備	5
操作スイッチ	6～7
お手入れのしかた	8～16
取りはずしのしかた	9
組み立てのしかた	10
お手入れのしかた	11～12
ファンのお手入れのしかた	12～14
ランプ交換のしかた	15～16
故障かなと思ったら	17
仕様	18
アフターサービス	18
修理を依頼されるときは	19

販売店・工事店様へ：

この取扱説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡してください。

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1302 7281-C



* 1 3 0 2 7 2 8 1 *

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



○ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



分解・修理
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



操作禁止

- ガス漏れのときは、スイッチを操作しないこと
爆発・引火のおそれがあります



濡れ手禁止

- 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと
感電やけがをするおそれがあります



プラグを
抜く

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
感電やけがをするおそれがあります



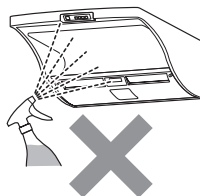
使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



ほこりを
とる

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因になります

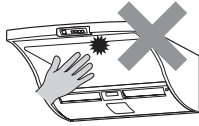
安全上のご注意

⚠ 注意



接触禁止

- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをするおそれがあります



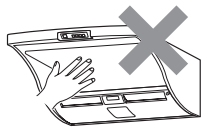
運転停止

- 調理中、油に火がついたときは、運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがより強くなり火災の原因になります



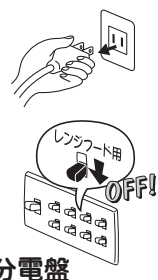
接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります



分電盤



使用禁止

- 製品に異常な振動が発生した場合、使用しないこと
製品・部品の落下によりけがをするおそれがあります



プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードにキズがつき、火災や感電の原因になります



禁止

- レンジフードの上に物を置かないこと
落下によりけがをしたり、火災や故障の原因になります



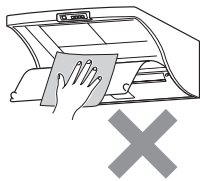
手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



禁止

- 整流板を製品から取りはずさず、図のような状態でお手入れをしないこと
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります



両手で支える

- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります



使用禁止

- 指定以外のランプを使わないこと
ランプカバー周辺が高温となりやけどをするおそれがあります



取付注意

- お手入れの際には必ずした整流板やファン、部品の取り付けは確実にこなうこと

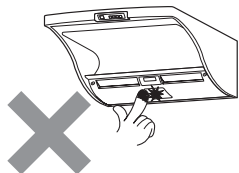


落下によりけがをするおそれがあります



接触禁止

- ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと
高温になるためやけどをするおそれがあります



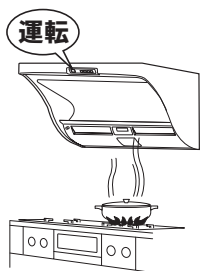
高温注意

- ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと
やけどをするおそれがあります

使用上のお願い

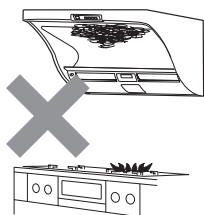
- 調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因になります



- 調理機器の空焚きは絶対にしないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因になります



- エアコンの風が直接あたらないようにしてください

風を受けると、吸い込みが悪くなります
オープンな場所では特にレンジフードから漏れやすくなります

- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります

レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

- IH クッキングヒーター（電気コンロ）を使用時、レンジフードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります

お手数ですがその際は滴下する前にふき取ってご使用ください

特に冬期など気温の低い状況では結露が発生しやすくなりますのでご注意ください

- グリル付の調理機器と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはランブカバー表面が結露することがあります

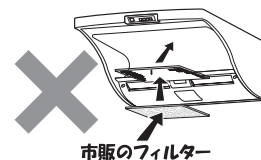
結露した場合はふき取ってご使用ください

- キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります

結露した場合はふき取ってご使用ください

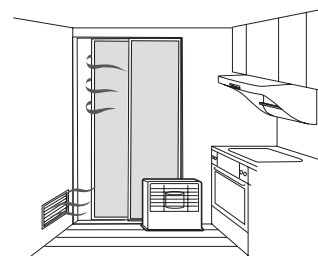
- 市販のフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください

吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります
性能を維持するため、専用のスロットフィルターをご使用ください



- レンジフードの運転中は給気をおこなってください

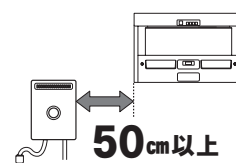
レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する場合があります



- 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください

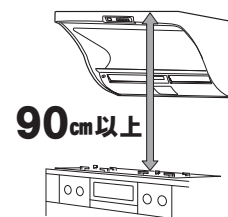
レンジフードの下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因になります



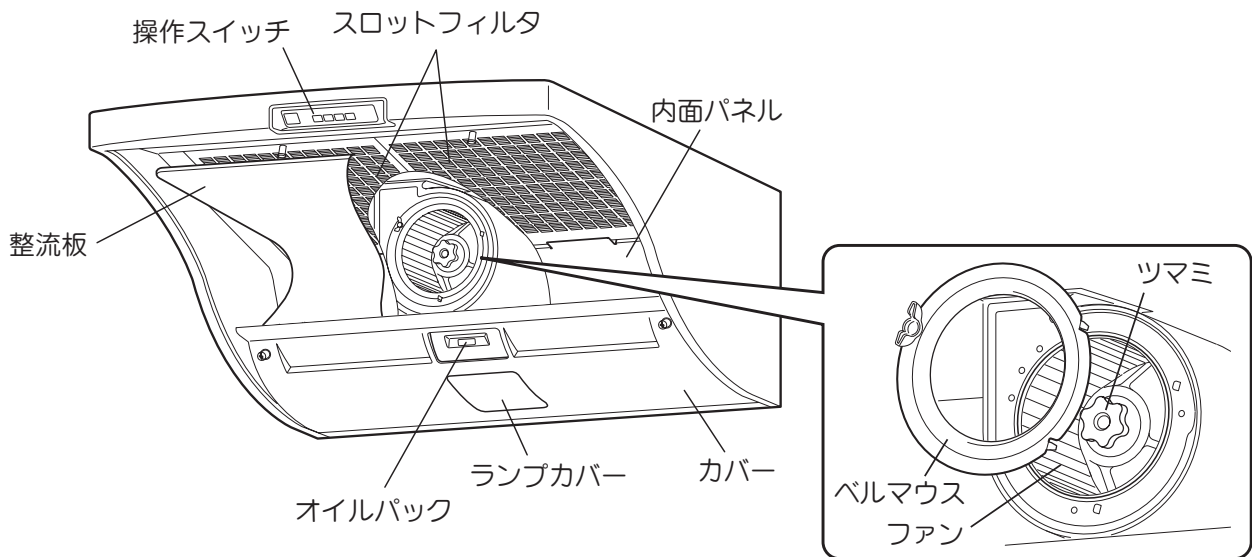
- 製品の上面が調理機器の真上、90cm以上に取り付けてあるか確認してください

火災予防のため、火災予防条例ではグリルフィルターの下端が調理機器の真上、80cm以上必要です



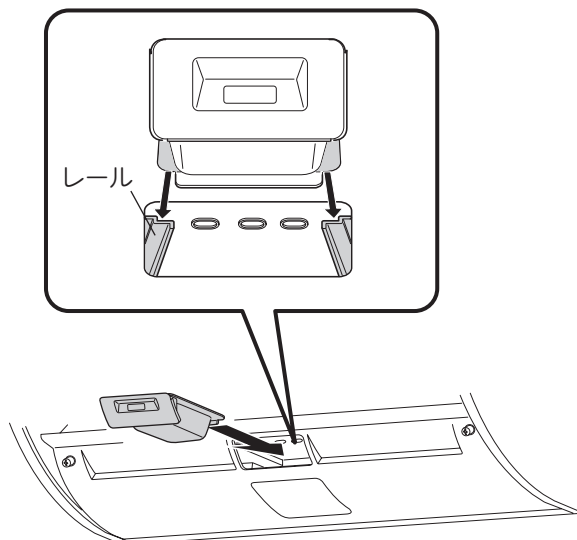
使いかた

各部のなまえ



使用前の準備

オイルパックが下図の所定位置に正しくセットされているか、確認してください。
※オイルパックが正しくセットされていないと、油が調理機器に流れ落ちます。

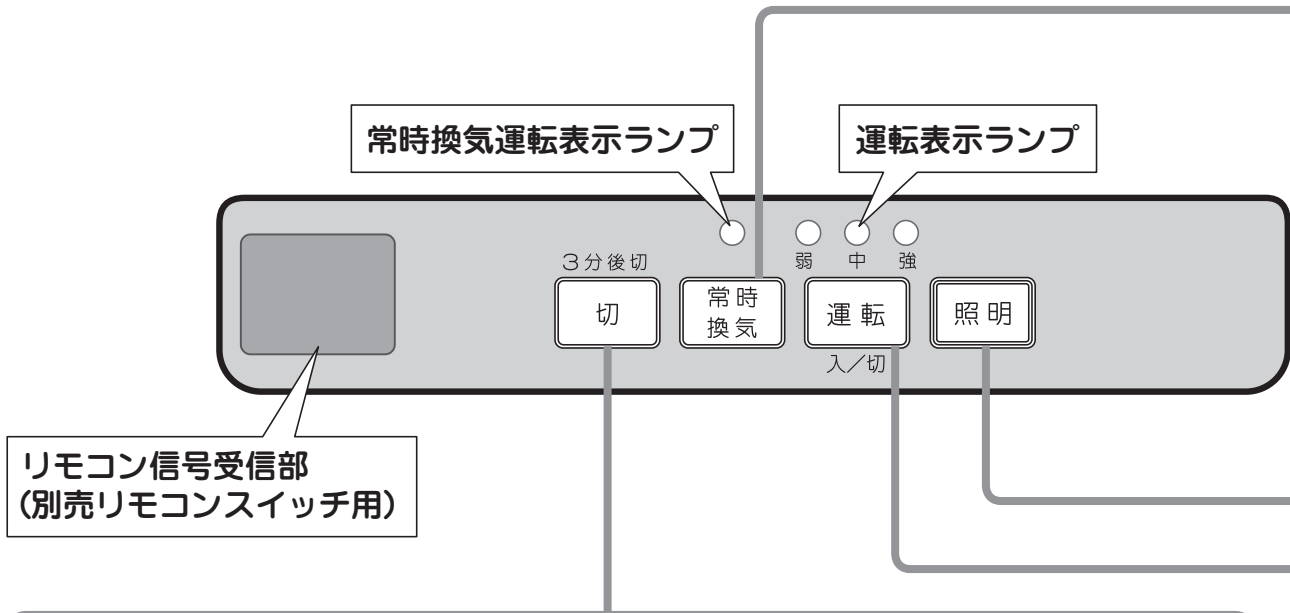


使いかた

操作スイッチ

※レンジフードの操作には別売リモコンスイッチもご使用になれます。

(リモコンスイッチでは常時換気の設定/解除、およびスイッチのロック/ロック解除はできません)



3分後切

切

3分後切スイッチ

3分間のタイマー運転により、調理の後の臭いやファンについての油汚れなどを軽減させます。

調理が終わった後は、^{3分後切} 切 スwitchを押してください。ご使用になっていた運転の運転表示ランプが点滅し、そのままの風量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します(3分後切機能)。

※常時換気モードが設定されている場合は、約3分後に常時換気運転に切り替わります。

※照明は消えません。照明スイッチを押すと消えます。

スイッチのロック ※リモコンでの操作はできません

● スイッチを「ロック」する

スイッチを長押し(約3秒間)すると、操作機能全てを停止し、操作スイッチを「ロック」します。

● 「ロック」を解除する

「ロック」中にスイッチを長押し(約3秒間)すると、「ロック」を解除し通常の状態に戻ります。

※解除後は必要に応じて各種機能の再操作をしてください。

スイッチの ロック/ロック解除



スイッチが
ロックしていると...

操作スイッチを押しても「ピピッ」と警告音が鳴り、ファン・照明は作動しません。操作スイッチの他、リモコンスイッチや調理機器との連動も受け付けません。

常時
換気

常時換気スイッチ

本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。
調理やお手入れの際を除き、連続換気ができます。

● 常時換気運転を設定する



運転停止中にスイッチを押すと、常時換気モードに設定します
(ランプ点灯)。

常時換気モードに設定すると、運転停止中(運転スイッチ「切」後、
タイマー運転後)に微弱風量で運転します。



● 常時換気運転を解除する

常時換気運転中にスイッチを長押し(約3秒間)すると、常時換気運転を停止します(ランプ消灯)。

常時換気運転時(常時換気運転表示ランプが点灯)に  スイッチ(弱・中・強)を押すと、レンジフード運転に切り替わり、設定された風量で運転し続けます。運転スイッチを「切」状態または  スイッチを押すと、常時換気運転、または3分後に常時換気運転に切り替わります。

※レンジフード運転時に常時換気の設定/解除はできません。(レンジフード機能が優先されます。)

※専用調理機器と連動運転の場合も同様です。

照明

照明スイッチ

スイッチを押すと照明が点灯します。押すたびに点灯/消灯を繰り返します。

弱 中 強

運転

入/切

運転・風量切替スイッチ

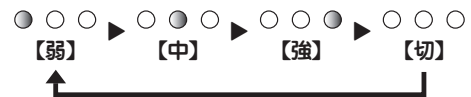
スイッチを押すたびに設定が変わり運転表示ランプが切り替わります。ただし「強」の次は「切」になります。
(「切」の表示ランプはありません)

弱…煙などが少ないとき、静かに運転したいとき。

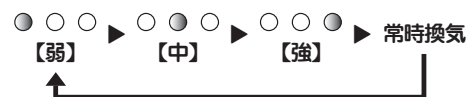
中…煙などが少ないとき。

強…煙などが多く出るとき、早く運転したいとき。

切…運転を停止したいとき。常時換気に戻したいとき。



常時換気モードに設定されている場合は、「切」にすると常時換気運転に戻ります。



レンジフード連動タイプ専用調理機器と組み合わせてご使用になる場合

- 連動調理機器を着火すると、自動的にレンジフードは「中」運転をおこないます。
この状態からレンジフードのスイッチ操作(運転停止・3分後切・風量切替・照明)がおこなえます。
- 調理機器を消火した際、レンジフードはそのままの風量で3分間運転を続け、自動的に運転を停止します。
照明や常時換気はもとのままの状態です。
- レンジフードの風量調節および照明の入/切などの操作を調理機器前面の操作パネルでもおこなえます。
(詳細については調理機器の取扱説明書をご覧ください)

※対応する加熱機器は NEC フォーマットの赤外線信号(38kHz)を発信する機種に限定されます。
加熱機器のお問い合わせ・お求めは各加熱調理機器メーカーへお尋ねください。

お手入れのしかた

警告



濡れ手禁止

- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと
感電やけがをするおそれがあります



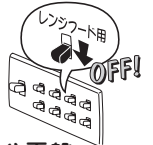
水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
感電やけがをするおそれがあります



分電盤

注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- お手入れの際には必ず整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



お手入れの際のお願い

- 調理直後のお手入れはしない
・ 調理直後はレンジフードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- お手入れはこまめにする
・ 油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
・ 特にフィルターは汚れやすいので、1ヶ月に1度程度の頻度でおそうじしてください。
早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。

● 中性洗剤を使う

- ・ おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズが付いたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性洗剤が使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

レンジフードの油汚れ落としに最適な、当社推奨の弱アルカリ洗剤「サットレールスプレー」「サットレールシート」があります。
お申し込み・お問い合わせは裏表紙をご覧ください。



- 金属ブラシやタワシなどの硬いもので拭き取らない
・ 処理面をキズ付けますので使用しないでください。
- 熱湯は変形のもと
・ 60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。
- ファンを変形させない
・ ぶついたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。
- ファンをはずした状態では運転しない
・ ファンをはずした状態で運転しないでください。モーターが過熱して故障の原因になります。
- 食器洗い乾燥機は使用しない
・ 取りはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装がはがれるおそれがあります。
- 専用のフィルター（製品にあらかじめセットしてあるもの）を使う、他のフィルターを重ねない
・ 専用のフィルター以外のフィルターを使用したり、他のフィルターを重ねたりすると、通気抵抗が大きくなり、吸い込み不良や異音発生、故障などの原因になるおそれがあります。

ファン内部の汚れがひどい場合には、有償にて清掃を承っております。お申し込み、お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

お手入れのしかた

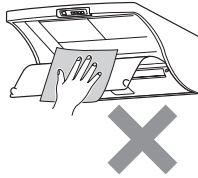
取りはずしのしかた

⚠ 注意



禁止

- 整流板をフードから取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります

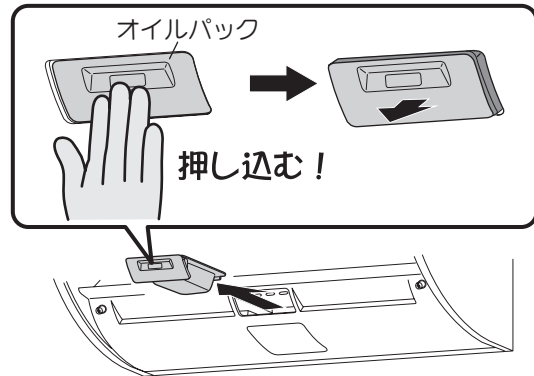


両手で支える

- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります

1 オイルパックをはずします。

オイルパックの前面を押し込むと、少し手前に出てきます。
両端を持ってゆっくり手前に引き出します。
※油をこぼさないようにご注意ください。
※ご使用の状況により油がたまらないことがありますが、異常ではありません。

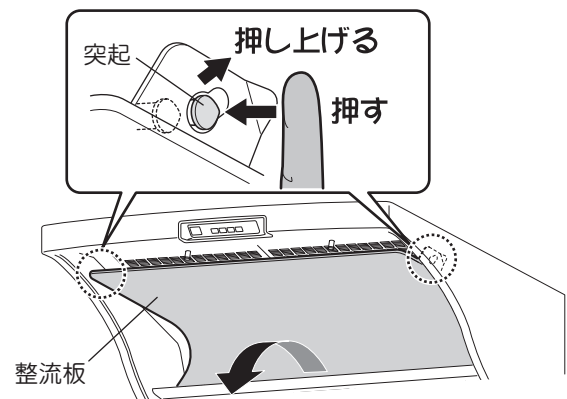


2 整流板をはずします。

整流板の左右を両手で支え、押し上げながら上部両角の突起を押し込み、手前にゆっくりと倒しながら取りはずします。

お願い

- 取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板や金具を変形させないようにご注意ください。変形させてしまった場合、整流板が取り付けなくなるおそれがあります。

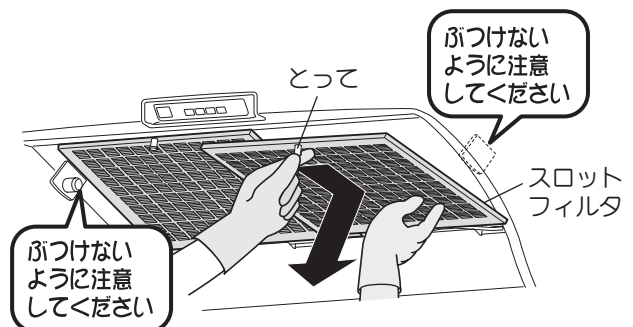


3 スロットフィルタをはずします。

スロットフィルタのとってを持ち、少し押し込んでから手前にさげると取りはずせます。

お願い

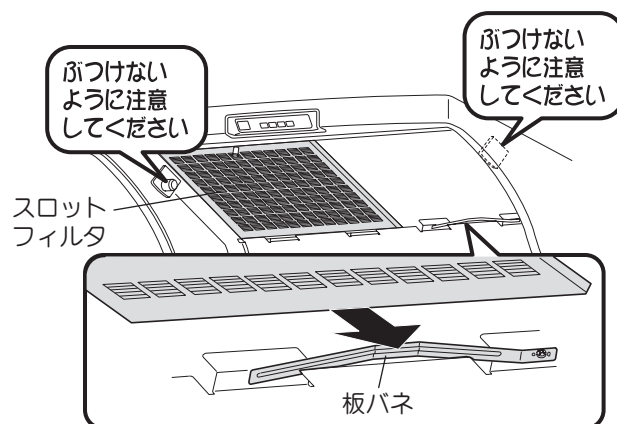
スロットフィルタをはずす際は、必ず手を添えてください。添えないと手前に落下し、けがをするおそれがあります。



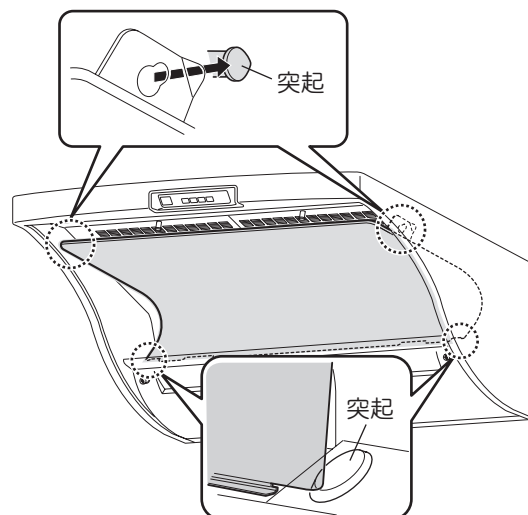
お手入れのしかた

組み立てのしかた

- 1** スロットフィルタを取り付けます。
スロットフィルタを本体の板バネに押し付けながら、前側をレンジフードの溝部分に取り付けます。



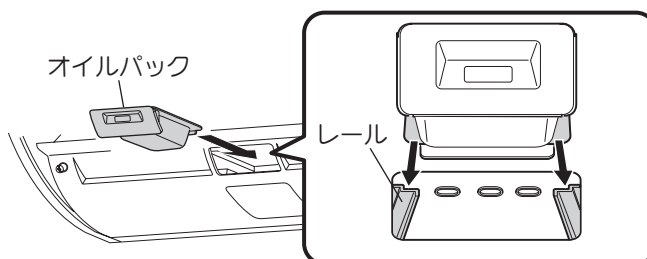
- 2** 整流板を取り付けます。
- 1) 整流板の左右を両手で持ち、下側から取り付けます。
※ 整流板の下端が本体側の突起より手前になるようにします。
 - 2) 本体上部両角の突起により確実に固定されるまで整流板を押し上げます。
 - 3) 整流板を軽く上下に動かしてみても確実に取り付けられたことを確認してください。



お願い

整流板の固定は、確実におこなってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。

- 3** オイルパックを取り付けます。
オイルパックを本体のレールに乗せ、前面を奥まで押し込み、手を離すと定位置に戻ります。



お手入れのしかた

お手入れのしかた

取りはずしのしかた、組み立てのしかたは、9～10ページをご参照ください。

こまめにおそうじしてください。

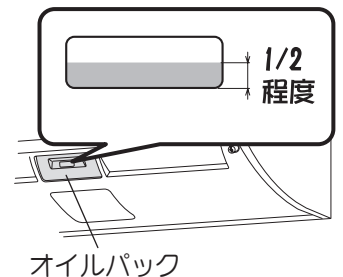
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗膜面が変質して塗膜はがれの原因になります。早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗膜面の劣化も防げます。

■ オイルパック

(汚れたらその都度お手入れしてください。目安：1ヶ月に1回程度)
やわらかい布などで油を拭き取り、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。
その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



※オイルパックは前面の窓から油のたまり具合が確認できますので、窓から見て1/2位たまったら、オイルパックを引き出して油を捨ててください。
ご使用の状況により油がたまらないことがありますが、異常ではありません。
※ケーシングやファンについての油はオイルパックにたまりませんが、油料理の頻度が少ない場合には、油はほとんどたまりません。

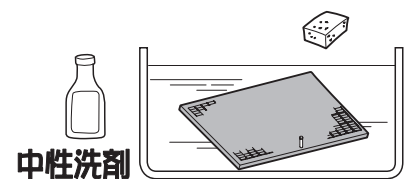


お願い

オイルパックは食器洗い乾燥機に入れないでください。
塗膜の劣化により塗装はがれるおそれがあります。

■ スロットフィルタ

(汚れたらその都度お手入れしてください。目安：1ヶ月に1回程度)
中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、表面のやわらかい布やスポンジなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



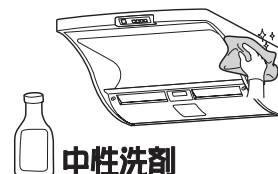
お願い

スロットフィルタはこまめにお手入れしてください。
目詰まりを放置すると、本体からの油漏れや換気不良、異音・振動の原因になります。

お手入れのしかた

■ 本体・整流板

(汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：1ヶ月に1回程度)
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、
汚れを拭き取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよく拭き取ってください。



お願い

はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。
変形・キズの原因になります。

※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

ファンのお手入れのしかた

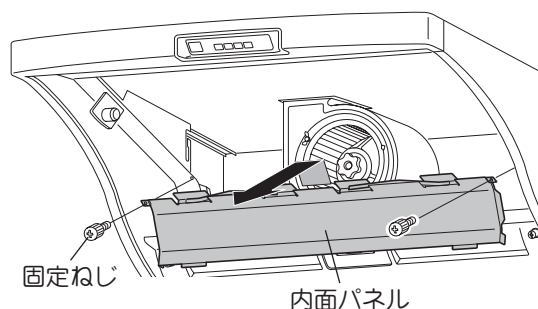
レンジフードを長期にお使いになり、汚れがひどい場合でファンをお手入れする場合には
次の手順でお手入れをおこなってください。

ファン内部の汚れがひどい場合には、有償にて清掃を承っております。
お申し込み、お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

■ ファンのはずしかた

1 整流板・スロットフィルタをはずします。
(9ページの「取りはずしのしかた」をご参照ください。)

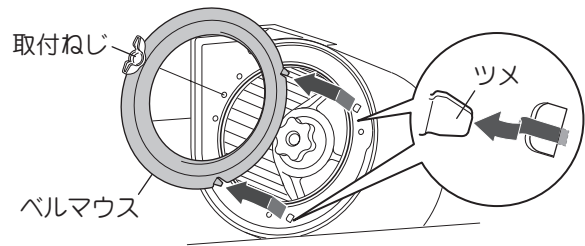
2 内面パネルをはずします。
2ヶ所の固定ねじをはずして内面パネルを
取りはずします。



お手入れのしかた

3 ベルマウスをはずします。

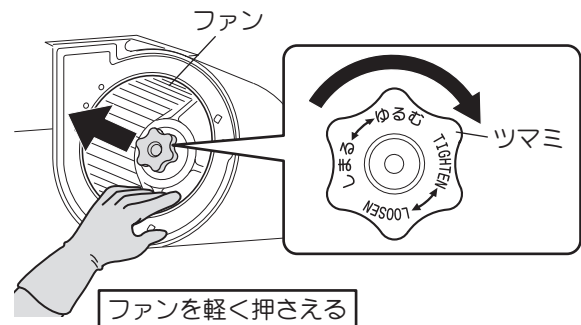
ベルマウスの取付ねじ1ヶ所を手でゆるめ、右側2ヶ所のツメをスライドさせてベルマウスをはずします。



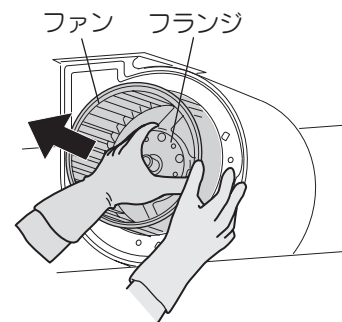
4 ファンをはずします。

1) ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「ゆるむ」(時計回り)の方向に回してはずします。

※ ファンは軽くおさえてください。
(強くおさえると変形するおそれがあります。)

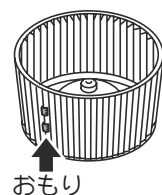


2) ファンの中央にあるフランジを持ち、少し手前に引き出したあと、両手で持ちかえてファンを引き出します。



お願い

- ファンを強く押さえたり、ぶつかけたり、落としたりして変形させないでください。(異常な音や振動の原因になります。)
- ファンの回転バランスをとるために、おもり(クリップ状の金具)がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。(バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因になります。)



■ ファンの洗いかた

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。

汚れがひどいときは台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きした後、やわらかいスポンジや布で洗ってください。

その後洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



お手入れのしかた

■ ファンの取り付けかた

1 ファンを取り付けます。

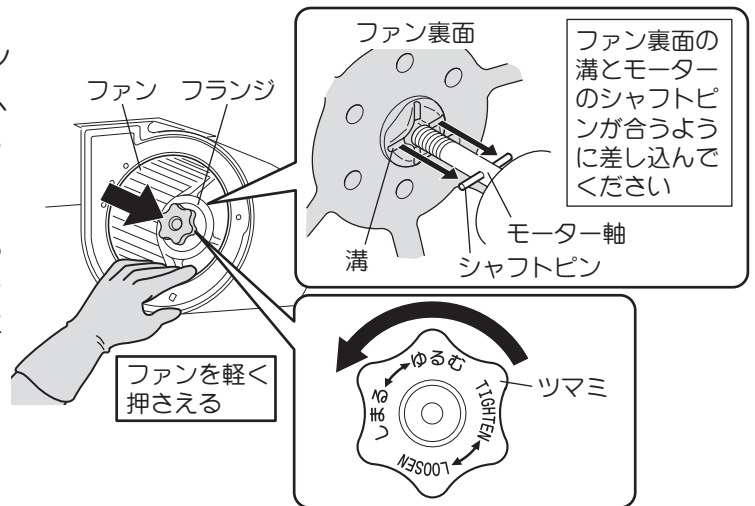
- 1) 本体開口部からファンを入れ、フランジ中央部の穴にモーター回転軸を通し、フランジを確実に奥まで差し込みます。

お願い

ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように確実に差し込んでください。(溝がシャフトピンに合っていないと異常音や落下によりケガをするおそれがあります。)

- 2) ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「しめる」(反時計回り)の方向に回して締め付けます。

※ ファンは軽く押さえてください。
(強く押さえると変形するおそれがあります。)

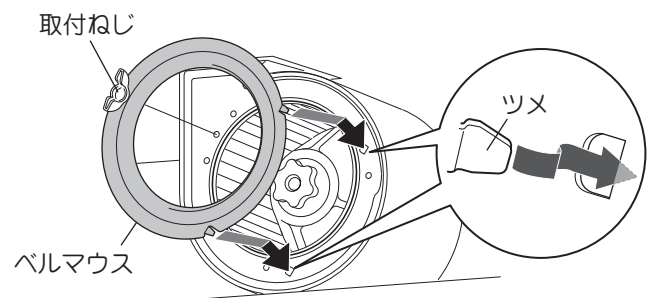


2 ベルマウスを取り付けます。

- ベルマウスのツメ2ヶ所を穴に差し込み、取付ねじ1ヶ所を締め付けます。

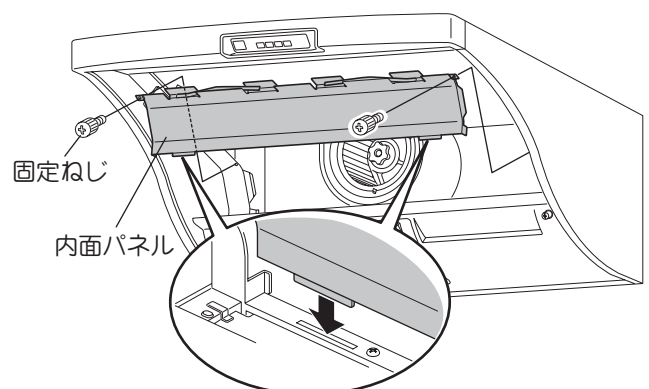
お願い

ファンを手で回してこすれ音などが無いことを確認してください。



3 内面パネルを取り付けます。

- 内面パネル下部のツメ2ヶ所を差し込み、固定ねじで2ヶ所を締め付けます。



4 整流板・スロットフィルタを取り付けます。 (10ページの「組み立てのしかた」をご参照ください。)

※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、下記の市販のミニ電球を購入し、交換してください。

- ミニ電球.....定格 100V 40W 形 □金 E17

警告



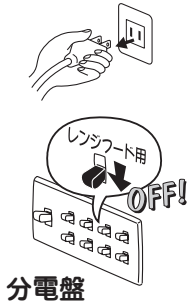
濡れ手禁止

- 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと
感電やけがをするおそれがあります



プラグを抜く

- ランプ交換の際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
感電やけがをするおそれがあります



分電盤

注意



手袋をする

- ランプ交換の際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



高温注意

- ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと
やけどをするおそれがあります

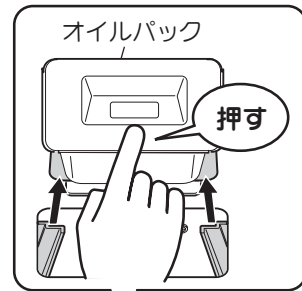


使用禁止

- 指定以外のランプを使わないこと
ランプカバー周辺が高温となり、故障ややけどをするおそれがあります

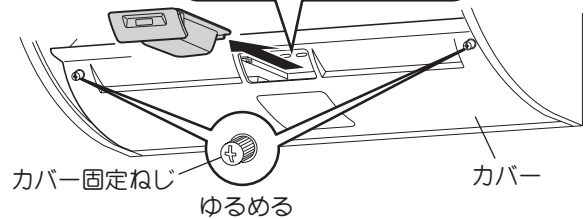
1 オイルパックをはずします。

オイルパックの前面を押し込むと、少し前に出てきます。
両端をもってゆっくり手前に引き出します。
※油をこぼさないようにご注意ください。



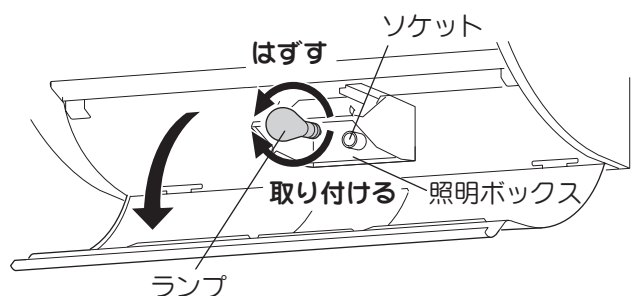
2 カバーを開きます。

2ヶ所のカバー固定ねじをゆるめて、カバーを開きます。
※固定ねじはカバーからはずれません。



3 ランプを交換します。

切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。

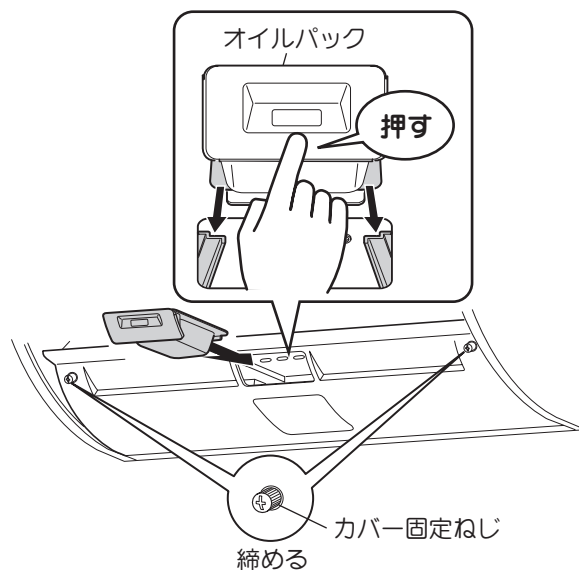


お手入れのしかた

4 カバーを閉じ、オイルパックを取り付けます。

1) 本体下部カバーを閉じ、2ヶ所のカバー固定ねじでしっかりと固定します。

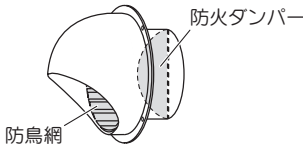
2) オイルパックを本体のレールに乗せ、前面を奥まで押し込み、手を離すと定位置に戻ります。



※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

症状	考えられる原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない ● ファンがまわらない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤のブレーカーが「切」になっている。 ● ロック状態になっている。 ● 電源プラグがはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤のブレーカーを「入」にする。 ● ロックを解除する。(6 ページ参照) ● 電源プラグを差し込む。
<ul style="list-style-type: none"> ● 照明がつかない 	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプを交換する。 ● ランプを取り付け直す。(15～16 ページ参照)
<ul style="list-style-type: none"> ● 異音がする 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● ベルマウスの取付ねじがゆるんでいる。 ● スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンのツマミを締め直す。(14 ページ参照) ● ファンを取り付け直す。(14 ページ参照) ● ベルマウスの取付ねじを締め直す。(14 ページ参照) ● スロットフィルタをそうじする。(11 ページ参照) ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
<ul style="list-style-type: none"> ● 吸い込みが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市販のフィルターを重ねている。 ● スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市販のフィルターをはずす。 ● スロットフィルタをそうじする。(11 ページ参照) ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンスイッチを操作しても動作しない (別売リモコンを使用している場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗している。 ● 電池の向きが間違っている。 ● リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ● ロック状態になっている。(ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池を交換する。 ● 電池を正しく入れる。 ● 発信部・受信部をそうじする。 ● ロックを解除する。(6 ページ参照)
<ul style="list-style-type: none"> ● オイルパックに油がたまらない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 油料理の頻度や気候により油のたまり具合が異なるため。 ● 本体や整流板などに油がついている。(送風機以外についた油はオイルパックにはたまりません。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● オイルパックに油がたまってから捨てる。(11 ページ参照) ● 本体や整流板についた油はその都度拭き取る。

仕様

定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
				0 Pa	100 Pa	
100	強	50	104	540	440	47
		60	117	510	450	47
	中	50	67	380	-	40
		60	68	330	-	38
	弱	50	30	160	-	23
		60	29	150	-	21
	常時換気	50	19	125	-	18
		60	23	130	-	19

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス (必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後 6 年保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

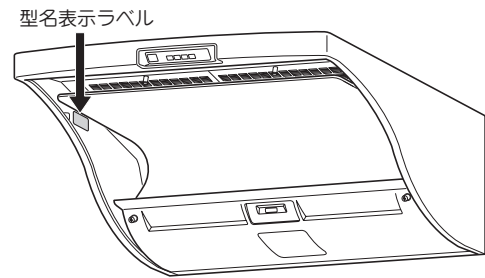
- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において 1 年間です。ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
 - (2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理を依頼されるときは

17ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用中を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	レンジフード
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

レンジフードの型名は、本体内側の左前方に表示してあります。



お買い上げの際に記入しておくことでサービスを依頼される時に便利です。

★長年ご使用の製品の点検を

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。



ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz 又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取扱説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)} 台所 2 410時間/年	
注 a)	常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。		

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

	購入店名	電話	()
お客様メモ	(システムキッチンメーカー名 :)
	ご購入年月日	平成	年 月 日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』の
お取り扱い窓口は

フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ 0120-953-903 (通話料無料)

FAX 042-768-3383

ホームページ <https://www.fujioh.shop>

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)



〔製造元〕 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お客様ご相談窓口 0120-071-686 (通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)